

南九州

— MINAMIKYUSHU CITY —

議会だより

第26号

平成26年5月8日発行



第2回アグリウォーク

目次

- ・ 26年度当初予算…………… P 2 ～P 3
- ・ 予算の審査から…………… P 4 ～P 7
- ・ 25年度補正予算…………… P 8
- ・ 条例の制定・改正…………… P 9
- ・ 一般質問…………… P10～P15
- ・ 市民の声…………… P16



◎発行：鹿児島県南九州市議会

◎編集：議会広報編集委員会

◎発行責任者：菊永 忠行

TEL (0993) 83-2511・FAX (0993) 83-4658
ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>



平成26年度 当初予算可決

一般会計歳出 209億円

前年度比 1.7%増

平成26年度当初予算 一般会計歳出

区分	H26予算額(千円)	H25予算額(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
1 議会費	191,320	185,548	5,772	3.1
2 総務費	2,632,235	2,661,494	△ 29,259	△ 1.1
3 民生費	6,638,608	6,238,804	399,804	6.4
4 衛生費	2,181,250	2,133,844	47,406	2.2
5 農林水産業費	1,774,031	1,830,705	△ 56,674	△ 3.1
6 商工費	217,993	204,589	13,404	6.6
7 土木費	1,631,527	1,855,043	△ 223,516	△ 12.0
8 消防費	1,098,627	1,043,335	55,292	5.3
9 教育費	1,994,670	1,923,379	71,291	3.7
10 災害復旧費	5,266	4,500	766	17.0
11 公債費	2,384,778	2,353,074	31,704	1.3
12 諸支出金	139,695	115,685	24,010	20.8
13 予備費	10,000	10,000	0	0.0
歳出合計	20,900,000	20,560,000	340,000	1.7

平成26年度第1回定例会は2月20日に招集され、3月26日までの35日間の会期で行われました。平成25年度補正予算及び平成26年度当初予算など議案27件、請願1件、陳情1件及び発議1件が審議されました。

一般会計の主な事業内容

第1次南九州市総合計画に基づいた予算が提案され、議会は無駄のない効率的かつ効果的な予算となっているか慎重に審議しました。

議会費

○市議会議員費

1億4300万円

議員の報酬及び費用弁償、共済費など。

総務費

○自治会関係費

1億5284万3千円

行政嘱託員報酬、自治会施設等整備補助金など。

○放送施設整備費

3431万1千円

自治会放送施設に対する一部助成金。

○移住定住促進対策事業費

3914万3千円

三大都市で開催されるふるさと回帰フェアへの参加やガイドブックの作成、市内外からの移住定

住に伴う住宅取得に対し補助を行う。

民生費

○臨時福祉給付金支給事業費

2億4039万円

消費税率引き上げに際し、低所得者に暫定的・臨時的な措置として対象者1人につき1万円を支給する。

○児童手当支給事業費

5億6439万7千円

中学校修了までの児童を対象に支給する手当てなど。

○保育対策等促進事業費

6321万6千円

延長保育の需要に対応するため、市内私立保育所が開所時間を超える場合に補助を行う。

衛生費

○不害虫対策費

2779万円

不快害虫ヤンバルトサカヤスデの駆除及び蔓延防止、生息拡大の抑制を図るための経費。

○地球温暖化対策事業費

1202万円

住宅用太陽光発電システムの導入に対し、補助金を交付する。

○浄化槽設置整備補助金

9794万9千円

生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置した人に対し、補助金を交付する。



農林水産業費

○中山間地域等直接支
払推進事業費

2066万3千円

中山間地域における耕作放棄地の発生防止の観点から、当該活動を行う農業者に対し、直接支払交付金を支給する。



穎娃佃上地区の棚田

○活動火山周辺地域防災
営農対策事業費（生産
流通）

6054万6千円

野菜の被覆施設を整備し、降灰被害の軽減と農家経営の安定を図る。

○基盤整備促進事業費

6078万3千円

農業生産性向上のため、農道や用排水路等生産基盤を整備し、農業経営の安定及び維持管理の軽減を図る。

商工費

○商工総務費（一般経費）

3018万9千円

北九州市、平川市との交流事業や各種補助金、特産品のPR・販売に必要な経費など。

○観光振興費（一般経費）

4039万3千円

観光誘致活動費、広告料、パンフレット印刷、お茶むらい胴体部作成の経費。

土木費

○市道単独整備事業費

3億1738万1千円

改良整備事業14路線、舗装整備事業5路線の道路整備を行い、環境整備と交通の安全を図る。

○公共用地取得業務事業費

4515万3千円

南薩縦貫道（知覧道路及び霜出道路）の用地取得業務に要する用地費及び補償費（60筆）など。



整備が進む南薩縦貫道

○生活道路等環境整備事業費

1050万円

自治会内の生活道路等の環境整備を図る。

消防費

○広域消防組合費

6億630万円

指宿南九州消防組合の管理費、消防救急無線デジタル化に伴う工事費及び、南九州消防署建設に伴う設計委託料に係る

普通負担金並びに、南九州市出身職員の給料・人件費に係る特定負担金。

○消防施設費（一般経費）

1億5958万1千円

災害発生時における初動体制を強化するため、消防水利や施設・資機材など計画的に整備充実を図る。

○災害対策費

2億2734万4千円

防災行政無線システム、防災行政無線システム（知覧地域のデジタル化）に係る工事請負費など。

教育費

○学校施設整備事業費

1407万8千円

大規模改造工事設計業務、仮設校舎借上げ設計業務委託料。

・浮辺小学校

1360万2千円

老朽化が著しいため、大規模改造工事を実施し、改善を図るための設計業務委託料。

○スクールバス運行経費

2720万4千円

知覧中学校、川辺中学校の遠距離通学生徒の通学時の安全確保・負担軽減を図るスクールバス運行業務委託料。

○伝統的建造物群保存対策事業費

3332万3千円

伝建審議会に係る費用弁償、市所有施設の修理工事に係る設計監理委託料・工事請負費。修理事業を実施した所有者への補助金など。

○給食センター管理運営費（一般経費）

1億5900万2千円

学校給食センターの運営、維持管理に要する経費で、修繕料、調理配送等業務委託料、配達車リース料など。

○図書館運営費

5893万4千円

穎娃・知覧・川辺の図書館運営に関する経費。

○地区公民館管理運営費

2810万2千円

別府・上別府地区公民館空調取替工事、高田校区公民館通路補修工事等各地区公民館施設の維持管理運営を図る。

○清水磨崖仏大五輪塔安
定化事業

249万5千円

県指定文化財清水磨崖仏の傾斜状況調査測量業務委託料。



調査予定の清水磨崖仏

市民を守る 消防体制の充実

●災害対策費

災害発生時に、市民に重要な情報を伝達する防災行政無線通信施設をデジタル化するもので、颯娃地域が終了し、知覧地域を26年度から27年度にかけて整備するものである。

～審査の中で～
問 デジタル化の終了はいつになるか。
答 川辺地域が最後に平成29年度の予定である。

●消防施設整備費
災害発生時における消防体制の充実を図るため、消防ポンプ車・小型ポンプ積載車の更新、消防団拠点施設の整備、防火水槽等を新設するものである。

～委員会から～
颯娃・川辺地域中学校通学路照明器具設置箇所の決定にあたっては、目的に沿った基準を適用し、適正に行うよう意見が出された。

●防犯対策費
安全で安心なまちづくりのため、市内中学校通学路照明器具設置や照明等を修繕するものである。

●委員会から～
後期基本計画の重点プロジェクトとして、前期基本計画から引き続き上位に位置づけられている「移住・定住促進対策」について、産業振興による雇用の創造、快適な住環境の提供、地域自治会の活性化など積極的な施策の展開に努めるよう意見が出された。

協働と自立による 住民主役の个性的なまちづくり

◆総務常任委員会◆

●放送施設整備費
自治会放送施設費の一部を助成することにより、自治会の財政負担の軽減を図り、災害に強い放送施設の整備を図るものである。

●移住定住促進対策事業費
南九州市に市内外から定住や移住させることにより、地域の活性化を図るものである。

●世界記憶遺産推進費
特攻隊員が書き残した手紙等を永久に保存し、これらをユネスコの世界記憶遺産に登録して世界恒久の平和に寄与するものである。

地域コミュニティ の充実

●自治会関係費

自治会集会施設等整備事業補助や自治会コミュニティ活動奨励金などである。

～審査の中で～
問 企業立地見込みは。
答 3社と協議中である。

●企業立地推進事業費
企業誘致により雇用の拡大、地域経済の活性化を図り、併せて立地企業の支援を行うものである。

●スピーカーコンテスト事業費
平和を語り継ぐ都市として、平和情報発信のため「平和へのメッセージ from 知覧スピーカーコンテスト」を開催するものである。

●川辺仏壇振興費
川辺仏壇の振興を図るための工芸品創作技術コンタールの開催経費や販路対策事業補助などである。

～審査の中で～
問 記憶遺産登録までの手順は。
答 現在、日本国内から27年度登録に4カ所が申請する見込みで、4件が申請すると、ユネスコから一度日本へ返されて、ユネスコ国内審査委員会で2件に絞られて申請されることになる。

～審査の中で～
問 記憶遺産登録までの手順は。
答 現在、日本国内から27年度登録に4カ所が申請する見込みで、4件が申請すると、ユネスコから一度日本へ返されて、ユネスコ国内審査委員会で2件に絞られて申請されることになる。



石垣分団詰所建設予定地



一般会計の予算

いきいきと健やかに暮らせる
健康・福祉のまちづくり

◆文教厚生常任委員会◆



わくわく川辺温泉

福祉の充実

●温泉センター管理費

市内温泉センターを保養・休憩に提供することにより、市民の健康増進と福祉の充実を図るものである。

- ・別府温泉センター泉源ポンプ購入
- ・知覧温泉センター泉源ポンプ修繕
- ・わくわく川辺男女浴室天井改修

●臨時福祉給付金支給事業費

消費税率引き上げに伴う臨時的措置として、市民税均等割非課税者に対し1人につき一万円、更に高齢・障害・遺族基礎年金受給者、児童扶養手当及び特別障害者手当等受給者には5千円を加算して支給するものである。

●後期高齢者健康保持増進事業費

75歳以上の高齢者の疾病の早期発見に資するため、人間ドック・脳ドック・PETドックの受診費用の一部を助成するものである。

●子育て世帯臨時特例給付金事業費

消費税率引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するために臨時的な給付措置を行うものである。

※平成26年1月1日の基準日において、本市に在住する児童手当の受給者で、対象児童1人につき1万円を支給するものである。

生活環境の充実

●生活環境衛生費

蜂の巣駆除対策や衛生自治団体連合会活動、不法投棄や野焼き等の苦情対応、生活環境の保全、墓地埋葬事務に要する経費である。

～審査の中で～

問 生ゴミ処理機等購入補助金の活用状況は。

答 生ゴミ処理機及びコンポストの購入状況は、24年度までは減少傾向ながらほぼ横ばいで推移してきた。25年度は生ゴミ処理機については申請がなかったが、ごみの減量化を図るためには、ごみ排出前の水分の減量化が不可欠で、事業の継続が必要である。



教育施設の充実

●社会体育施設管理費

社会体育施設の維持管理に要する経費である。

～委員会から～

体育備品や体育施設の整備については、サッカー場など施設間格差が見られることから、3地域、誰でも等しくスポーツができる環境整備に努めるよう意見が出された。

●学校施設環境改善交付金事業費

粟ヶ窪小学校及び浮辺小学校校舎の老朽化が著しいことから、大規模改修工事を実施するための設計業務に要する経費である。

～委員会から～

多額の財政負担が伴う大規模改修工事は、将来の児童・生徒数の推移等を見据え、適正な規模の改造となるよう、設計段階から慎重に検討を行い工事に取り組むよう意見が出された。



大規模改造予定の粟ヶ窪小(上) 浮辺小(下)

安心・安全な食の提供と 未来を支える農業のまちづくり

◆産業建設常任委員会◆

農林水産業 の振興

●農業人材育成事業費

本市の農業を担う人材の育成・確保を図るため、後継者・新規参入者に対し総合的に支援するものである。

・農業後継者育成確保奨励金は、後継者等に30万円を支給。
・青年就農給付金は、国の政策で45歳未満の独立自営する就農者の生活支援として年間150万円を最長5年間給付。

～審査の中で～

問 青年就農給付金は24年度6人、25年度8人の実績に対して、26年度を14人とした理由は。
答 5年後に独立自営を目指す親元就農も対象となったため。

●鳥獣被害対策実践事業費（国庫）

鳥獣による農作物への被害を防止するため、電気柵等の導入に対し補助するものである。

●鳥獣被害防止対策事業費（市単）

問 両事業の違いは。
答 国庫補助は、3戸以上の農家で団地での申請となり、市単独事業はそれに該当しない点在于ほ場等でも申請でき、1戸でも助成が受けられる。

～審査の中で～

●畜産業振興費（一般経費）
自家発電装置導入補助や自給粗飼料生産確保対策事業補助金等により、畜産業の振興を図るものである。

●茶健康増進実践事業費

茶業経済の活性化を図るため、お茶の健康増進機能を実証し、茶消費拡大及び市民の健康増進を図るものである。

～審査の中で～

問 事業の内容は。
答 茶が健康増進機能を高める作用があることを鹿児島大学医学部と協力して実証するものである。

～委員会から～

茶の消費拡大については、統一銘柄となる「知覧茶」の知名度をさらに高めるため、これまで取り組んでいる旅館や飲食店などへの購入助成をさらに拡充するようとの意見が出された。

住環境の整備

●住宅整備事業費

市営住宅の整備・改修を行い、住環境の整備を図るものである。

～審査の中で～

問 屋根工事を行う稲荷町住宅は、長屋風の作りで、建築後だいたい年数が経過していると思われるが、住宅の耐用年数は。また、類似の公営住宅は他にもあるか。
答 鉄筋は70年で木造は30年。簡易耐火建築の住宅は頰娃地域に多く存在する。



屋根工事を行う稲荷町住宅

～委員会から～

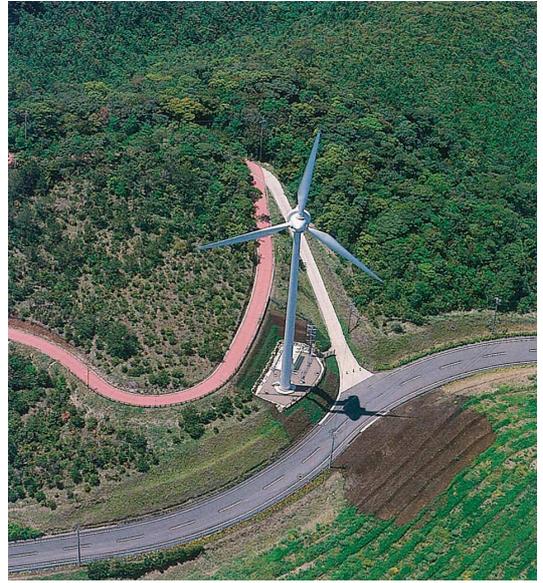
道路・河川愛護作業の報償費単価は合併時に見直され、当分の間は現状維持との考えであるが、自治会内の住民も高齢化が進む中、重労働であり参加者も減少していることなどから、現状を考慮し単価を見直すようとの意見が出された。

●土木総務費（一般経費） ●河川総務費（一般経費）

愛護作業に伴う報償費や維持管理に係る委託料などである。

●観光施設管理費

アグリランドえいの風力発電施設撤去工事に係る工事請負費などである。



撤去予定の風車施設

～審査の中で～

問 故障の原因は。
答 風荷重の乱れによる影響で軸受部が損傷した。
問 市の方向性は。
答 経済産業省からの通達「風力発電設備の安全確認について」を重んじ、風力発電施設を撤去する。

平成26年度 当初予算 特別会計・企業会計

区 分		H26予算額(千円)	H25予算額(千円)	増減額(千円)	増減率(%)	
特別会計	国民健康保険事業	6,286,800	6,257,000	29,800	0.5	
	後期高齢者医療	566,800	532,400	34,400	6.5	
	介護保険事業	4,683,000	4,433,000	250,000	5.6	
	簡易水道事業	277,900	490,800	△212,900	△43.4	
	農業集落排水事業	76,300	75,700	600	0.8	
	公共下水道事業	170,800	179,400	△8,600	△4.8	
企業会計	水道事業	(収益的支出)	456,656	328,721	127,935	39.0
		(資本的支出)	243,169	144,006	99,163	69.0
総 額		12,761,425	12,441,027	320,398	2.5	

特別会計の主な事業内容

国民健康保険事業は危機的状況
市民一人一人が医療費削減に努力を！

国民健康保険事業

● 一般被保険者療養給付費
34億526万8千円

医療費のうち、自己負担額を除いた額を国保連合会を通じて保健医療機関に支払う給付費である。

● 一般被保険者高額療養費
5億2190万2千円

医療費の自己負担額のうち、定められた負担額を超える額を支給するものである。

※ 国民健康保険事業特別会計へ、本年度も一般会計から法定外繰入2億9544万9千円が計上されている。

後期高齢者医療

● 後期高齢者医療広域連合納付金
5億6324万8千円

後期高齢者医療被保険者から納付される保険料及び一般会計からの保健

基盤安定負担金を県広域連合会へ納付するものである。

介護保険事業

● 居宅介護サービス給付費
13億4400万円

居宅介護サービス利用料の保険者負担分である9割を国保連合会に支払うものである。

● 地域密着型介護サービス給付費
5億7000万円

地域密着型介護サービス利用料の保険者負担分の9割を国保連合会へ支払うものである。

● 施設介護サービス給付費
17億8800万円

施設介護サービス利用料の保険者負担分の9割を国保連合会へ支払うものである。

簡易水道事業

● 施設管理費(一般経費)
5544万3千円

水道水を安定的に供給するため各施設の維持管理に要する経費である。

● 建設改良費
6915万円

安定的な給水に必要な改良工事などの経費である。

農業集落排水事業

● 知覧垂水維持管理費
296万円

知覧垂水浄化センターの維持管理費などである。

● 川辺東部維持管理費
861万6千円

川辺東部農業集落排水処理場の維持管理費などである。

公共下水道事業

● 浄化センター維持管理費
2300万円

知覧中央浄化センターの維持管理委託料などである。

● 管渠及び排水設備維持管理費
1111万5千円

公共下水道区域の管渠及びマンホールポンプの維持管理委託料などである。

水道事業

● 原水及び浄水費
8810万4千円

各地区水道施設の取水、浄水、送水などの維持に係る経費である。

● 配水及び給水費
4884万5千円

配水池、配水管、中継ポンプなどの維持管理費である。

25年度
3月補正

学校施設環境改善交付金事業費 など6億6,631万円追加

一般会計 予算総額 225億8,278万3千円

一般会計の主な補正

総務費

○企業立地推進事業費

2776万円

頤娃町別府地区で操業開始している神畑養魚株式会社南九州養殖センターの立地に対する補助金を追加補正するものである。



神畑養魚(株)南九州養殖センター

○移住定住促進対策事業費

300万円

消費税率引き上げ前の駆け込み需要などにより申請件数が増え、不足が見込まれるため増額補正するものである。

民生費

○障害者自立支援給付事業費

7974万4千円

実績見込み及び24年度精算に伴い増額補正するものである。

なお、法改正により24年度から新体系のサービスに移行了するため、前年度実績が確定していない段階での当初予算編成であったことから補正額が高額となった。

衛生費

○浄化槽設置整備補助金

1300万円

消費税率引き上げに伴う新築住宅の増加や24年度から行った市の追加補助に合わせ、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替え啓発の効果で増加が見込まれるため補正するものである。

○不害虫対策費

▲1201万1千円

ヤンバルトサカヤスデの発生が少なかったことに伴う家屋侵入防止薬剤購入費助成費等を減額補正するものである。

農林水産業費

○農業人材育成事業費

▲435万円

農業後継者育成確保奨励金において、5人を見込んでいた研修生が3人、5組を見込んでいた夫婦後継者が2組であったことと、青年就農給付金において、計画を2人分下回ったことから、減額補正するものである。

土木費

○市道単独整備事業費

▲1億870万8千円

13路線について、執行に伴う事業費の組み替えと用地取得の同意が得られなかったこと等による不用見込み額を減額補正するものである。

○公共用地取得業務事業費

▲5266万4千円

南薩縦貫道知覧道路及び霜出道路の用地費において、金額の低い山林等の件数が多かったことから、減額補正するものである。

教育費

○学校施設環境改善交付金事業費

6億248万5千円

老朽化が著しい松ヶ浦小学校校舎、清水小学校屋内運動場の大規模改造工事及び開校以来32年経過した知覧中学校グラウンド改修を実施するため追加補正するものである。



大規模改造される松ヶ浦小学校

特別会計

国民健康保険事業

○一般被保険者療養給付費

1億6000万円

療養給付費に不足が見込まれるため追加補正するものである。

※財源の不足分は一般会計からの繰入金1億9740万4千円で補てんする。

介護保険事業

○居宅介護サービス給付費

1億2600万円

居宅介護サービスの利用者が増加したのに伴い増額補正するものである。

農業集落排水事業

○知覧垂水維持管理費

75万5千円

浄化センターのスクリーン故障により修繕料を増額補正するものである。

南九州市まちづくり支援自動販売機寄附条例



この条例は南九州市職員提案規定による職員からの提案に基づくものです。飲料という気軽な購買が募金活動につながり、本市の諸事業の財源確保に役立つものです。

◎その他の条例

- ・南九州市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
- ・南九州市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ・南九州市お茶街道ゆとり館条例の一部を改正する条例
- ・南九州市営墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・南九州市熊ヶ谷放牧場条例の全部を改正する条例

請 願 / 不採択

◎特定秘密保護法の撤廃を求める請願書

提出者：南九州市川辺町 大倉野由美子

審査の中で

委員会では、九州電力が「安全審査」を原子力規制委員会に申請していることについて、「大きな活断層はない」とする九州電力の評価は、政府の地震調査研究推進本部地震調査委員会の報告書と整合性が取れておらず、また原子力規制委員会の火山影響評価ガイド（案）と照らしても川内原発が立地不適であること、さらに原発半径30キロ圏内における原発事故時の実効的な避難計画が策定されていないなどから、本陳情の願意は正当で採択すべきものと決定しました。

基金設置 南九州市庁舎建設整備基金条例

「南九州市庁舎の在り方検討委員会」の答申に基づき、将来の新庁舎建設のための財源を確保し、新庁舎建設を円滑に行うことを目的とする基金を設置する条例を定めるものです。

消費税率及び地方消費税率の 引上げに伴う関係条例の整備

4月1日から改定される消費税UPに伴い、市の関係する施設の使用料、占有料等の一部を改正するものです。

特別職の給与を減額

南九州市長及び副市長の給与等に関する条例 南九州市教育長の給与・勤務時間等に関する条例

本市の財政健全化の一環として引き続き市長、副市長及び教育長の給料月額を減額するものです。

市長	744,300円（10%減）
副市長	618,400円（5%減）
教育長	594,600円（3%減）

※平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

陳 情 / 採 択

◎「県民の安全が担保されない拙速な川内原発 1・2号機の再稼働を認めない決議」の採択 を求める陳情書

提出者：南九州市川辺町 並河真知子

下記の諸点が満たされない限り「県民の安全が担保されない拙速な川内原発1・2号機の再稼働を認めない決議」の採択を求めます。

- (1)原発周辺の活断層の存在がすべて解明されること
- (2)火山災害に対する安全性の根拠が明らかにされること
- (3)地震・火山問題について、鹿児島県独自の専門委員会が設置されること
- (4)地震・火山問題について、専門家による検討会が公開の場で実施されること
- (5)実効的な避難計画が策定されること

が聞きたい

一般質問

指定管理

モニタリングの実施

市長／報告書・実地調査等で確認



議員 勝範 峯 峯

峯 指定管理者が管理している21施設の今後の計画と方向性が示されているが、取り組み状況と指定管理者モニタリングマニュアルの「業務の履行状況の確認」の実施状況を示せ。

蔵元 地方自治法の改正により、総合計画の策定は市町村の判断に委ねられた。市は南九州市総合計画策定条例を定め、今後最も最上位計画として策定していくことを決めていく。今後、基本計画において、住民の意向をど



議員 慎一 蔵元

蔵元 住民参画については課題が多いが、無作為抽出による市民参加など、色々な手法もある。次の総合計画策定までに住民の意思が最大限反映

のように取り入れていくか。
市長 市民からの施策提案、パブリックコメント手続き、地域審議会及び総合計画審議会への諮問を行った。施策提案については一件、パブリックコメントの意見は得られていない。

総合計画

住民の声を計画に

市長／みんなのまちづくり基本条例に基づき進める

され、自らが責任を負う最適な計画づくりの調査研究を進める考えはないか。
市長 あらゆる計画について、今後市民の声を反映することが重要だと認識している。みんなのまちづくり基本条例に基づき、住民参画を進めていきたい。



地域審議会のようす

市政のここ

10人が
登壇

ごみ処理

現状と今後の対策は

市長／周知を図り、意見・要望があれば検討する

伊瀬知 穎娃ごみ処理施設は平成29年度から最終処分場を除き廃止とし、指宿市に建設されるごみ処理施設で処理することのことであるが、市民にとって距離も遠く非常に不便となる。
また、ごみの減量化やさらなる広域化に取り組み考えはないか。



伊瀬知 正人 議員

市長 指宿市の新ごみ処理施設が完成すると、穎娃地域分の直接搬入には不便となる。直接搬入の軽減措置のため、自治会における不燃ごみ等収集を毎月2回行っているの
で、できるだけ自治会設置のごみ収集所をご利用
いただきたい。
また、ごみ処理施設廃止について広報や説明会により周知を行い、市民から意見・要望があれば更に対策を検討する。ごみの減量化は分別収集の徹底を図り、生ごみ処理機購入補助など再資源化



譲渡予定の穎娃多目的研修センター

市長 指定管理により運営されている21施設は指定期間が違っていることから、指定期間の満了までは現在の指定管理による管理運営を継続していく。
業務の履行状況の確認については、適切かつ確実なサービスの提供が確保されているか、また安定的・継続的なサービスを提供することが可能で

を図る。さらに抜本的な広域再編は今後も引き続き検討協議を行う。



穎娃ごみ処理施設

あるか測定・評価等を実施し、必要に応じて指導・助言を行う。指定管理者から提出される報告書を基に確認等を行い、必要に応じて施設への立ち入り、管理運営状況の实地調査等を行っている。

里道整備

市道以外の道路整備について

市長／南九州市里道の整備に関する要綱を定め対応する



亀甲 俊博 議員

亀甲 平成25年3月議会において質問した市道以外

の道路整備について検討すると答弁しているが、どのような検討がなされたか。

市長 関係部課を含めて

検討し、市道として認定が困難な道路については、一定の基準を設けて整備を行う必要があると判断し、新たな「南九州市里道の整備に関する要綱」を定め、平成26年度から地域の要望に対応したいと考えている。

要綱の内容は、「地域住民が生活道路として利用する道路」「不特定多

数の人が利用する公共性の高い道路」について整備の基準を満たしていれば対象となる。
このほか、災害復旧及び安全対策上必要がある

と認める道路については、従来通りの取扱いとなる。

その他の質問

○共生・協働によるまちづくり

○地元業者育成



未整備の里道

消防団

定数や再編の考えは

市長／今後も継続して検討する



蓮子 幹夫 議員

蓮子 消防団員は市外勤務も多く、団員数は確保されていても、消防団活動に対応できないと思う。定数や再編を検討する考えはないか。

市長 現在、全体の55・8%の方が被雇用者である。基本的な消防団制度の充実強化に努めてまい



消防団出初式

りたい。平成23年度から一市一団長制へ変更し、この見直し時に消防団員の定数も消防後援会とも協議したが、検討の継続をする必要がある。同様に地域実情にあった組織の構築も検討していきたい。

条例公民館について

教育長／当分の間、現在の状況で対応

蓮子 校区・地区公民館は各地域で運営状況が異

なっているが、いつ頃を目途に統一された運営とするか、また館長選任の規定を設けるなど条例を整備する考えはないか。
教育長 当分の間は、3町それぞれの運営を充実させていった方が良く考えているが、調整できるところから図っていきたい。館長の選任については、各公民館で慣例に従った独自の方法により選出されており、条例で規定することは考えていない。

学校再編

穎娃地区中学校再編は

教育長／民意を尊重する



加治佐 民生 議員

加治佐 少子化が進む中、小中学校の再編は避けて通れないと考えるが見解を問う。
また、昨年12月に穎娃地区中学校再編検討委員会より、統合すべきとの答申がなされたが、これまでの取り組みと今後の対応を問う。



穎娃地域での説明会

教育長 南九州市教育委員会としては、民意を尊重する考え方であるので、強引に小中学校の再編を推進することは考えていない。

しかしながら、市民が主体となった南九州市穎娃地区中学校再編検討委員会から「次代を担う南九州市の子どもたちに、真に必要な教育環境を整備するため、学校の統合を実施すべきである」と

いう答申を受けたことは、真摯に受け止めている。

穎娃地区中学校再編については、教育委員会と協議のうえ地区説明会を開催する考えである。各地区での説明会が終わった段階で、中学校統合に向けた作業を進めるべきか判断したいと考える。

その他の質問
○鳥獣被害防止対策

学校給食

地元野菜等の使用は

教育長／可能なかぎり取り入れるよう検討する



内園 知恵子 議員

内園 学校給食に使用されている南九州市産の野菜は平均45%にすぎない。使用量や種類を増やす考えは。

教育長 年間約35種類の野菜を使用しており、今後も使用量の拡大と、他の野菜も可能な限り取り入れるよう検討する。
内園 市内産米使用量は45・83%で、残りは学校給食会から調達しているが、学校給食会は「各市町村の判断で制約はしていない」としている。農業振興のためにも地元産米を100%使用にする考えはないか。

給食センター所長 県学校給食会からの購入を今後も維持していきたい。

地元業者育成について

市長／できるだけ地元業者の活用に努めたい

内園 「地元業者育成について」の請願がされたが、市内業者からは未だに不満の声も聞かれる。市の対応を問う。
市長 地元業者が調達可能な事務用品、事務機、教材備品の購入、印刷製本等の業務は市内に本社がある業者を選定し見積入札をし、最大限努力している。

その他の質問
○介護保険



地元食材の検収

茶流通拠点

施設整備と今後の取り組みは

市長／出品茶工場については、振興会が検討し整備する



塗木 弘幸 議員

塗木 茶流通拠点施設整備に予算が計上されているが、事業内容と今後の取り組みを問う。

市長 仕上げ加工施設はJA南さつまが主体となり、現有施設を活用して整備する。茶の低温貯蔵施設については、JAいぶすきが主体となり検討する。出品茶工場については、茶研施設を含め茶業振興会が主体となり、規模や場所を検討し整備する。

工事入札の現状と対応は

市長／地元業者の受注

状況を考慮し入札を行っていく

塗木 建設現場での人手不足が深刻化し入札不調



整備される加工施設

が増加しているが、本市の公共工事発注の現状と今後の対応を問う。
市長 現場への支障のない範囲で現場代理人・主任技術者の兼務ができるよう要件の緩和措置を行った。現在まで入札不調が3件ある。早期に発注できるものは早期に行い、地元業者の受注状況を考慮しながら公共工事の入札を行っていく。

茶業振興

具体的な取り組みは

市長／お茶の消費拡大を積極的に行う



吉永 賢三 議員

吉永 茶流通拠点施設の整備計画を示す。

市長 現在、低温貯蔵庫はJAいぶすきが、仕上げ加工施設はJA南さつまの管理施設があり、これまで出品茶については成果が出ているので、既存の施設を使用する。流通に関しては、JAが



お茶いっぱいの日バスツアー参加者

主体なので、将来は一つにまとめるよう今後協議をしていく。

吉永 新たな販売戦略についてどのような考えか。

市長 消費拡大対策事業で市とJAが連携し、市内の旅館、飲食店を媒体に喫茶会を増やす対策や各イベントなどで宣伝・販売活動を展開する。
吉永 市内飲食店へまだまだ浸透されていないのではないかと。

市長 今後とも理解を求めながら進めていき、お茶アドバイザーを育成し、お茶の消費拡大を積極的に行う。

吉永 健康増進機能の実証についての取り組みは。

市長 一日お茶6杯以上を3ヶ月間飲用し、前後の血液の変化を医療機関と連携し検証するもので、多くの市民の皆様にご協力いただきたい。

樹木管理

樹勢回復に取り組む考えは

市長／造園業者の意見も聞きながら対応したい



西 次雄 議員

西 市内の公園等の樹木に白いカビやコケ類が付着し、既に枯れ掛けた樹木や植栽も見られる。訪れる観光客等に喜んでいただけるような公園等の樹木や植栽を生き



樹勢の弱った岩屋公園の桜

生きとよみがえらせるため、樹勢回復に取り組む考えはないか。

市長 公園については、市内造園業者に年間管理業務委託しており、樹勢が弱くなっている樹木も見られ、造園業者の意見も聞きながら対応したい。

川辺小のセンダンのその後の対応は

教育長／かごしまみどり

りの基金事業
で実施

西 昨年9月議会で、川辺小学校の大木の樹勢回復に向けた対策を講じた

ことのであったが、その後の対応は。

教育長 かごしまみどりの基金へ申請を行い、25年11月30日に樹木医診断等が行われ、センダン2本については樹勢回復術が決定し、ケヤキ1本については、26年度に国のふるさとの森再生事業へ申請したい。

その他の質問
○観光振興

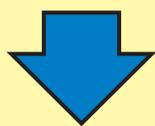
追跡

あの質問・提言はどうなった?!

質問／市民音頭の制作

深町幸子 議員
(平成24年9月議会)

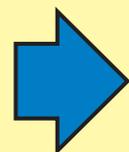
南九州市民音頭制作に向けた今後の計画を示せ。



市長

答弁／平成25年度に制作

曲と振り付けについては、平成25年度に制定したい。



その後



曲、振り付け、歌手が決定!

- H25. 3月 南九州市民音頭制定委員会において歌詞決定
作品：小島ひろ美さん（貝塚市）
- 4月～9月 市民音頭の曲募集
- 10月 曲決定 作品：松田恭雄さん（京都市）
- 12月 南九州市民音頭CD制作及び振り付け等業務委託契約
- H26. 1月 市民音頭の歌手募集（市内在住）
応募者19人（男性4人、女性15人）
- 2月 南九州市民音頭歌手オーディション開催
（川辺文化会館）平木場千晶さんに決定
- 3月 曲のレコーディング（大阪市）

市

民

の

声



川辺町 平山

梅木 康博

郷土の魅力

川辺町で食品の製造業を営んでおります。主に鹿児島の特産であるあくまきや、かるかん、かからん団子など製造販売しております。仕事柄、特産品を県外で販売する機会が多いのですが、その際にいつも感じるものがあります。それは、鹿児島のすばらしさ、田舎のすばらしさです。本当に実感します。最近では郷土の事をもっと知りたくなり、歴史など深く追求するようになりました。先日、姉妹都市である北九州市で物産展があり

ました。そこで懇親会があり、北九州市の職員の方と話しております。その中学生の息子さんが、西郷さんの強烈なファンだと聞きました。非常に嬉しかったのですが、さらに驚いたのが鹿児島県民です。知らないようなエピソード(与人役大体)まで知っていたのです。さて、この町この日本をどのようにしたいかと考えた時に、自ら行動に移すことだと考えます。そして、行政等に頼るのではなく、まず、各個人が責任をもって行動する。私は「市民の声」として要望するものではないのです。この町が繁栄、発展する条件は各個が盛り上がることだと考えます。そのことによりおのずと町、自治体が発展するものだと思います。賛否両論あるとは思いますが、大いに議論したいと思います。

市民歌体操で市が元気に

知覧町 東別府
塗木 勇三

「1、2、3もつと曲げて」と、健康運動士の号令に合わせて参加者が「あいたたあ」と声を上げ、固くなった体を必死に曲げようと頑張っています。これは知覧保健センターで行われた「男の運動教室」での出来事です。二月の寒い時期開催で参加者が少ないのではと心配でしたが、40・50歳代の男性がたくさん参加しました。計測(体重・体脂肪等)をしながら「肥えた」「腹が出ってきた」「運動をせんないかんどねえ」とあちこちから声が聞こえてきます。私は30人いる市のスポーツ推進委員の一員です。市イベントの企画運営や地域行事への運営協

力、また市民が元気にスポーツに親しめるよう活動しています。昨年は24年度にスポーツ推進委員が振り付けをした「市民歌健康体操」の普及事業で委員全員が手分けして市内の小・中学校へ出向いたり、スポーツイベントでも取り入れており、少しずつではありますが

市民へ浸透しつつあります。この体操は無理なく体を動かせ、身も心もリフレッシュができ、「三つの町が心を一つに」という振り付けも入っており親しみやすい体操になりました。議員の皆さま、そして市民の皆さま、たばこで一服もいいですが、健康のためにも休憩のときにはこの体操をやってみてはいかがでしょうか。



南九州市スポーツ推進委員

編集後記

26年度当初予算も可決され、新年度が始まりました。

本予算では、茶が持つ健康増進機能について医療機関や公募の市民モニターと協力して実証するための予算が新たに組まれています。

医療費がひつ迫している今日、モニターの方でなくても茶一日6杯を目標に飲んでいただければ、少しでも医療費削減に繋がるとともに、茶の消費拡大にも期待ができると思います。

知覧特攻平和会館収蔵資料の世界記憶遺産登録に向けた取り組み同様、南九州市民みんなの盛り上がり期待したいと思います。(吉永)

▼広報編集委員会

- 委員長 西 次雄
- 副委員長 吉永 賢三
- 委員 塗木 弘幸
- 松久保正毅
- 蔵元 慎一
- 内園知恵子